

ライブラリィ と や ま

書庫にある資料にふれる
入門編 郷土資料 (地図)

富山県立図書館は、80万点を超える資料を所蔵していますが、閲覧室には一部が開架されているのみで、その他の資料のほとんどは書庫に保管されています。とりわけ、郷土資料の多くは、残念ながら、受入後は直ぐに書庫に配架されてしまい、普段は容易に目にする事ができません。そのうち、郷土関係の地図では、明治期の市街地図をはじめ、昨年改訂された「環日本海・東アジア諸国図」(通称「逆さ地図」)まで、さまざまな地図を所蔵しています。

今回は、「書庫にある資料にふれる 入門編」と題して、書庫にある郷土資料のうち近代の地図を御紹介いたします。

右に掲げている地図は、明治20年に刊行された「越中 富山市街図」です。地図の周辺に師範学校、県庁、日枝神社、雪見橋等、当時の富山市の名所の絵が付されています。

また、明治25年の「新選富山市実測全図」では、縮尺も記載され、さらには四方には市内の名所の銅版画があります。

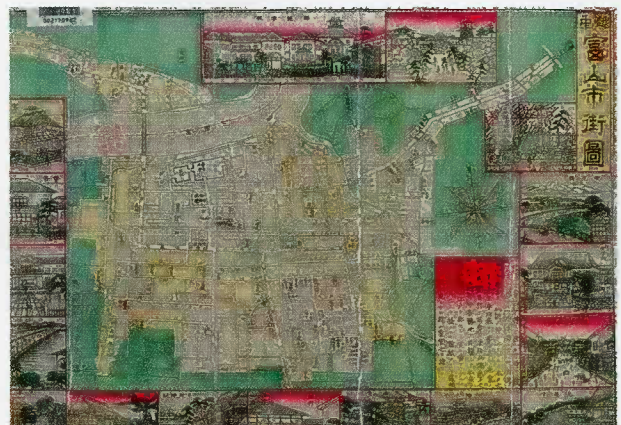
次は、昭和7年の「大日本職業別明細図 第270 富山県」です。これは、東京交通社の定期刊行物だった商工地図の1枚です。富山市のほか、滑川、上市などの周辺の町

村の公共機関、金融機関、会社、工場、商店、旅館等が記載され、裏面は職業別の住所録となっています。

また、当館の情報プラザの古絵図・貴重書ギャラリーでは、「富山県管内図」の画像が公開されています。これは、富山県が設置されて2年後の明治18年に刊行されたもので、明治の大合併前の市町村名が詳しく記載されています。

このほか、明治の県域の地図では、大阪の出版社によって各府県版が刊行された「大日本管轄分地図」があり、その裏面には郡市別の紹介等が掲載されています。当館には、この地図の「富山県管内全図」の明治35年新版などを所蔵しています。

書庫には、このほかにも様々な地図があります。ご利用の際は職員にお尋ね下さい。



平成24年度 東海北陸地区公共図書館研究集会在 開催されました



平成24年11月21日(水)～22日(木)の2日間、富山県立図書館多目的ホールにおいて平成24年度東海北陸地区公共図書館研究集会在が開催されました。この集会在は、東海北陸地区(富山・石川・福井・岐阜・三重・愛知・名古屋市)の7自治体の図書館職員を対象として毎年開催されているもので、今年は8年ぶりに富山県が会場となりました。

今回は「図書館をデザインする—建築・館内環境を考える」をテーマに、講演・事例発表などがあり、県外の方27名を含む78名の図書館関係者が参加しました。

1日目冒頭は愛知工業大学工学部建築学科准教授 中井孝幸氏より「利用者が求める『場』としての図書館」と題してご講演いただきました。

中井先生は「場」の概念における図書館の建築について研究をされており、豊富な調査事例を紹介しながら魅力的な図書館建築についてお話をされました。

館内の利用者の動線を分析した調査では、賑わい・静けさなど利用者が居心地のよさに応じて館内で過ごす場所を使い分けている点を指摘されました。また、近年は滞在時間が以前より長くなる傾向があり、「貸出・返却・探す」にとどまらず図書館に居場所としてのゆとりが求められているとのお話がありました。

講演の後は、2日間に分けて3つの事例発表がありました。

①『『夢のある未来へ』金沢海みらい図書館』
金沢市立金沢海みらい図書館
館長補佐 小松浩人氏

金沢市4番目の図書館として平成23年5月に開館。キューブ型の建物の四面に6,000個の丸窓を配置した個性的な外観で、2012年5月に米国で「世界で最も美しい公共図書館ベスト25」にも選ばれた。照明の工夫や空気循環を考慮した設計で熱効率を向上させた。

②「ショッピングセンター跡を活用した図書館整備～富山県南砺市立中央図書館～」
南砺市立中央図書館 副主幹 中仙道俊雄氏

平成22年4月、福光中心部の旧ショッピングセンターを改築してオープン。建築コストは抑えられたが、図書館として設計された建物ではないため積載加重が少ないなどメリットデメリットがあった。

③「新図書館建設計画～つかさのまちプロジェクト～」
岐阜市立図書館
新図書館準備係長 本田充子氏

現在、新館建設準備中で平成26年度オープン予定。設計は世界的建築家の伊東豊雄氏のデザイン案に決定。うずまき状に配置した書架、見える書庫などを備え、市民に親しまれる図書館を目指す。

2日目は、このあと富山県内情勢報告として県内の図書館建設について概要説明があり、続いて立山町、朝日町の両図書館から報告がありました。

続く研究討議では、2日間の講演・事例発表について質疑応答や意見交換が行われて集会在を締めくくりました。

今回の集会在は図書館という建物を利用者・職員両方の立場から捉えなおすよい機会となりました。

書庫にある資料にふれる 県史編

地域の歴史を知る基本的な資料として、地方自治体がまとめた、いわゆる県史や市町村史があります。富山県史のように完結しているものや、愛知県史のように現在刊行中のものまで、自治体によって様々です。

県立図書館の閲覧室には、とやまの本コーナーに富山県史があり、一般書架には石川県史の一部、金沢市史、福井県史、岐阜県史な

ど近県分がありますが、その他の多くの県史は書庫にあります。

北陸・中部地方など近県のは所蔵していましたが、それ以外では未所蔵のものが目に付きました。この度、手薄だった東北・北関東地方の県史を購入したほか、九州地方などの県史も補充しました。ご利用ください。

お気軽におたずねください レファレンス事例集

Q 神通川の名前の由来が知りたい？

A 『角川日本地名大辞典16』(452p)には、「神々がここを通ったので神通といい、川名を神通川としたという（多久比礼志神記）。」とあります。

『神通川と呉羽丘陵』(96～97p)には、「神通川の名の由来」がいくつか紹介されています。「『大日本地名辞典』にすでに神通川について「神通とは仏家の語なれど、其の起因を知らず」として「六道寺川・常願寺川の間だから、同じように神通という名の寺があったのかもしれない」と述べた。地元でも志田延義博士は同じ考えだ。」

また、同書には「神通川（宮川）の水源地、飛騨一ノ宮付近で神が川音の喧しいの厭い、川を地下に伏流させた。神の力で、川水を地下に通したから神通川だという。また神通川には笹津・寺津・船津・今生津など、津のつく地名が点々とある。津は舟着き場である。神々が舟に乗って通い、着船したから神通川だという。」ともあります。

『越中富山地名伝承論』(219p)には、「神通川は、その昔、水無神社から約二里（約八キロ）ほどの地点まで水のないところがあった。



それは飛騨の仙人が、神通川付近の山中で修行をしていた時、経文を読誦するのに川の水音がうるさく読誦が妨げられるので、龍王を呼び付けて水音を止めさせた。そのため、水が地中にもぐってしまい、水音は聞こえなくなったという。それを知った人々は、その仙人の神通力に驚いて、その川を神通川と呼ぶようになったという。」とあります。

参考文献

- (1)『角川日本地名大辞典16 増補版』（「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店1987）
- (2)『神通川と呉羽丘陵』（廣瀬誠／著 桂書房2003）
- (3)『越中富山地名伝承論』（中葉博文／著 クレス出版2009）

平成24年度企画展示 最新情報

平成24年度第11回企画展示「富山県のプロ・スポーツを楽しもう！ カターレ富山」が富山県立図書館で開催中です。

富山県立図書館を「新たな情報の発信基地にしよう！」との理念に基づいて開始された企画展示は、情報の翼をプロ・サッカーチームのカターレ富山にまで広げました。

今回は、カターレ富山の選手の「お薦め本」の紹介を始め、日程ポスターやユニフォーム、オフィシャルグッズ等の展示も行っています。

また、春休みの特別企画として、来たる3月26日(火)及び27日(水)の両日、カターレ富山の選手による「読み聞かせの会」や「選手とのふれあいタイム」等のイベントも予定されていますので、ふるって御来館下さい。

詳しくは、富山県立図書館(電話：076-436-0178)までお問い合わせ下さい。なお、最終日は3月31日(日)です。



■新着読書会テキスト

1タイトルを10冊セットで貸出します。
グループでの読書会にご利用ください。

- ・浅田 次郎 著 「赤猫異聞」(新潮社)
 - ・黒田 夏子 著 「a b さんご」(文藝春秋) ～芥川賞受賞～
 - ・阿川佐和子 著 「聞く力」(文藝春秋)
 - ・畠中 恵 著 「けさくしゃ」(新潮社)
 - ・村田喜代子 著 「光線」(文藝春秋)
 - ・小川 洋子 著 「最果てアーケード」(講談社)
 - ・大島真寿美 著 「ゼラニウムの庭」(ポプラ社)
 - ・有川 浩 著 「旅猫レポート」(文藝春秋)
 - ・朝井リョウ 著 「何者」(新潮社) ～直木賞受賞～
 - ・西 加奈子 著 「ふくわらい」(朝日新聞出版)
 - ・辺見じゅん 著 「夕鶴の家」(幻戯書房)
 - ・蓮池 薫 著 「拉致と決断」(新潮社)
- 《県民カレッジ叢書》
- ・黛 まどか 述 「俳句に見る日本人のユーモアと美意識」
(富山県民生涯学習カレッジ)

図書館カレンダー

2013 〇〇の〇〇の日が休館日になります。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
4	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
月	21	22	23	24	25	26
	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
月	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
						1
6	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14
月	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30					

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
月	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
館内整理日
毎月第4木曜日(祝日の場合は翌日)、5月8日
蔵書点検期間(11月28日～12月9日)
年末年始(12月28日～1月4日)

開館時間

火～金曜日(ただし、休館日を除く。)午前9時～午後7時
土日・祝日(ただし、休館日を除く。)午前9時～午後5時

貸出

1人10冊まで、15日間

*資料のお問い合わせは
県立図書館 調査課へ
TEL (076) 436-6812
URL <http://www.lib.pref.toyama.jp/>
携帯版ホームページ
<http://www.lib.pref.toyama.jp/i/>